

第四回

新宿アート寄席

立川志の春

平成24年八月四日(土)

新宿・A口西新宿

新宿区西新宿セーニール 新宿書櫃ビル五階

JR新宿駅西口徒歩5分・1階が薬のセインヨーのビルです

十九時〜二十時三十分(開場十八時三十分)

ホウ銭：一、五〇〇円(予約一、三〇〇円)

全席自由

別途打ち上げ会開催(要予約・二七〇〇円)

寄席終了後の20:45頃から

近くの居酒屋で

立川志の春さんも交えた

打ち上げ会を開催します。

立川志の春

昭和51年(1976年)8月14日生まれ、35歳。小学校時代に父の転勤に伴い渡米、高校卒業後、アメリカはイェール大学に進学。中国史を学び、ラッセル部に所属。卒業後は、三井物産に入社。

鉄釘石を扱う部署で順調なキャリアを歩み続けていた平成13年(2001年)11月、25歳の時に偶然立川志の春の落語を聴き衝撃を受け、翌年10月、3年半の勤務に終止符を打ち、周りの反対を押し切り志の春の轉門下に入門。

8年3カ月の前座修行時代を経て、昨年、平成23年1月に二回昇進。落語界をリードしてきた立川流、早進基準も厳しいと言われているなかで、

「世の難問落語の難問を子とて、いい曲を曲家落語家である。」

志の春師匠は、「冗談抜きで、世界で通用可能な落語家になってほしい」という言葉をかけている。

